

管理機関名：地方独立行政法人山口県産業技術センター

プロジェクト名

ニーズから実用化までワンストップ医療産業参入支援プロジェクト

事業の背景（地域・産業の特性、市場が抱える課題・ニーズ等）

- 基礎素材型産業に特化した山口県の産業構造は景況の影響を受け易く、人口減少や高齢化が全国より早く進む中において、将来にわたり地域の雇用と経済の活力を維持・創出していくためには、産学公が連携し中小企業等が活躍する新たな成長産業の育成・集積が不可欠
- 医療関連分野は、ニッチ市場の集合体、既存技術の応用による製品・技術も多く、中小企業のものづくり技術の活用が期待できる分野だが、以下の課題（ニーズ）への対応が必要。
 - ・医療・医学・介護福祉現場と中小企業等とのネットワークの形成、連携の強化
 - ・現場ニーズの的確なキャッチ、ニーズの市場性を正確に見極める能力
 - ・法規制への対応や、医学的エビデンス、安全性、品質管理等の厳密な対応
 - ・医療機器製造企業への育成や製造販売企業との連携など医療関連分野の面的な育成・集積

事業の狙い（製品／市場・用途、提供する価値、新規性・優位性等）

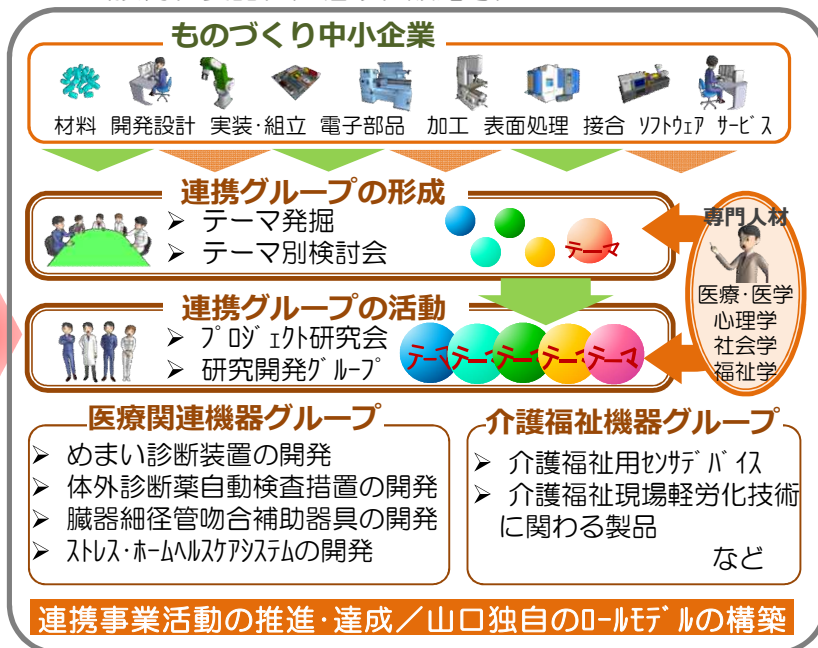
- 製品/市場・用途 … 医療機器/介護福祉機器（大手企業の参入し得ないニッチ市場/製品）
 - ・既存技術の応用/アレンジ、ものづくり中小企業の得意分野を活かした製品・技術の提供
- 提供する価値 … ニーズへの対応に加えて周辺技術やサービスを含めたビジネスの提供
 - ・「これがあったら便利」ではなく「これがあったら買う」商品・サービスの提供
- 新規性・優位性 … 未開拓未着手製品の発掘による製品化
 - ・新発想から生まれた医療機器&介護福祉機器の提供

連携・グループ化の目的・期待効果

From（技術、製品、仕組み、販路等）

- 医療関連分野の産業集積が弱い（参入企業が少ない）
 - ・医療機関・介護福祉施設とのネットワーク
 - ・医療専門家とのネットワーク形成
 - ・臨床評価、現場評価
 - ・法規制、品質管理等の知識 等
- 法規制や事業化プロセスの特殊性に眼を奪われ、「お客様の心を奪得」観点の欠落
 - ・本質ニーズ認識のための洞察が浅い
 - ・ソリューションを出すまでのスクリーニングが不十分
 - ・アウトカム（本質的価値）が語られない。アウトカムへのエビデンスがない

To（技術、製品、仕組み、販路等）



この事業実現のためのキーファクター

モノづくりからコトづくり

- ・開発前段階から十分な検証と価値付け
- ・医療・医学的見地や文化系の視点（心理学・社会学・福祉学）からのアプローチ

ものづくり力の向上

- ・医療機器製造認可（登録）取得企業への育成（部素材供給から部品・製品製作による高付加価値製造企業への育成）

関係機関との連携強化

- ・県外を含めた医療機器製販企業との広域的な連携
- ・実証モニタリング等による介護福祉施設との連携

コンソーシアム又はグループの構成



◆グループ形成/活動へのステップアップ

テーマ発掘 ネットワーク形成

コンソーシアム形成に向けた調査、技術スクリーニング

- ・ニーズ調査
- ・企業調査・訪問
技術力、仲間づくり
- ・技術動向調査
市場トレンド、学術的トレンド、専門グループとの仲間づくり（展示会、学会、専門セミナー等）

テーマ別検討会

課題・ニーズを元に課題解決に向けた方策を検討



プロジェクト研究会

研究開発に向けての調整（参画企業・役割）～競争的資金獲得



研究開発グループ

競争的資金獲得等により実際に研究開発を推進



コンソーシアムの決意表明

- 山口県で策定した『医療関連産業クラスター構想』（平成26年4月）に掲げる3つの取組領域（①予防・健康管理の充実、②生活習慣病等の治療技術の高度化、③医療・介護現場の改善）の実現に向けて、医療関連産業の参入企業の増加をはじめ、質的・量的拡大を目指します。